

Title	大学の研究経営におけるリサーチ・アドミニストレーターの在り方
Author(s)	岡田, 直資; 江端, 新吾; 加藤, 真樹
Citation	年次学術大会講演要旨集, 30: 358-359
Issue Date	2015-10-10
Type	Conference Paper
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/13293
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	一般講演要旨

大学の研究経営における リサーチ・アドミニストレーターの在り方

○岡田直資，江端新吾，加藤真樹（北海道大学）

北海道大学は、2012 年に文部科学省補助事業「リサーチ・アドミニストレーターの育成・確保するシステムの整備」（リサーチ・アドミニストレーションシステムの整備）に採択された。これを受けて、2012 年 10 月に創成研究機構 URA ステーションを設置し、その後、リサーチ・アドミニストレーター（URA）8 名（シニア URA 2 名、URA 6 名）を採用した。

URA ステーションの業務は、本学の研究戦略に基づき、（１）国際共同研究の実施を支援し、（２）大型研究プロジェクトの企画等及び大型競争的資金獲得に係る施策の企画等を行うとともに、（３）URA を育成することとされた。（１）、（２）ともに、研究担当理事及び国際担当理事の指示の下で、全学的もしくは部局横断型なプロジェクトに対する企画、支援を実施した。

その結果、「国際科学イノベーション拠点整備事業」、「研究大学強化促進事業」、「スーパーグローバル大学創成支援事業」「革新的イノベーション創出プログラム」等の大型プロジェクトへの申請支援（表 1）の他、「グローバルファシリティセンター」の設置構想や各部局の研究力分析のように研究推進体制の強化に係る企画・立案、及び部局の枠を超えた「北極域研究センター」設置の企画・立案から部局長レベルとの意見調整までを URA が自ら行い国際共同研究連携の拡大推進を図る等、多種多様な活動を行った。

2013 年に採択された研究大学強化促進事業の研究力強化の取組においても URA は実施の中核を担っており、同事業の開始に伴い、URA 4 名が増員された。そして、研究戦略企画・研究推進支援を行う職種として定着が図られ、2015 年から任期の定めのない「URA 職」が創設され、6 名が任期の定めのない雇用に移行した。URA ステーションは、新設された大学力強化のための運営組織「大学力強化推進本部」の中核を担う組織として 2015 年 4 月に再編され（１）全学的、部局横断的な研究戦略企画と研究推進支援に関する業務、（２）研究力強化とグローバル化を中心とした大学力強化のためのシステム改革に関することを業務とすることとなった（図 1）。

現在の本学 URA の業務の特徴として、産学連携コーディネーターとの役割分担が明確になっており、基礎研究推進施策の立案、ランドマーク型研究の企画、先端機器共用の促進など、基礎研究力の強化、研究基盤に関する機能強化や、研究システム改革に活動の重点を置くとともに、様々な大学活動の事業化を模索していることが挙げられる。これは、URA が研究推進の支援や、研究事業の企画に留まらず、研究システムの経営的業務に当たっていると言える。これらの業務を経験することにより、本学 URA が産学連携コーディネーターとともに、将来大学の経営人材となり得る可能性が生まれる。

H24 年度	文部科学省「地域資源等を活用した産学連携による国際科学イノベーション拠点整備事業」
H25 年度	科学技術振興機構（JST）革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM） 条件付採択（COI-T）
	文部科学省大学 シーズ・ニーズ創出強化支援事業（イノベーション対話促進プログラム）
	JST 研究成果最適転換支援プログラム（A-STEP）1 件
	文部科学省 研究大学強化促進事業
	日本学術振興会（JSPS）頭脳循環を活性化する若手研究者海外派遣プログラム
H26 年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）
	グローバルサイエンスキャンパス
	スーパーグローバル大学創成支援タイプA
	科学技術振興機構（JST）革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）本拠地に昇格
	世界展開力強化事業
	ベルモントフォーラム
H27 年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）
	文部科学省 北極域研究推進プロジェクト（ArCS プロジェクト）

表 1. URA ステーションが申請に関わって獲得した外部資金

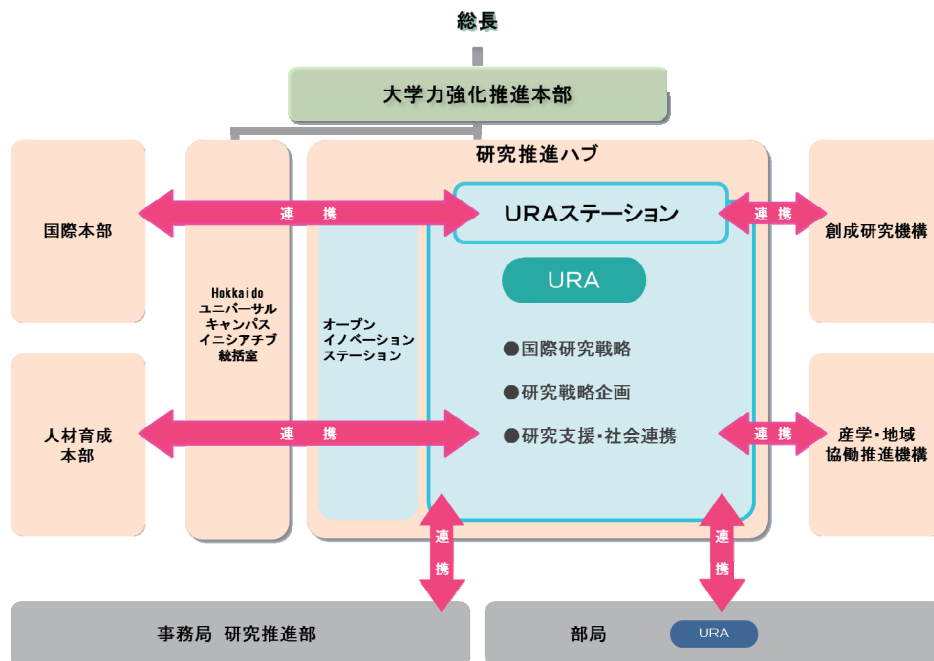


図 1 URA ステーションの組織図（平成 27 年 4 月 1 日～）